



週報 佐土原ロータリークラブ

会長：原田宗忠 副会長：日高邦孝 RI2730 地区ガバナー 田中 俊實
 幹事：長倉祐一郎 会計：竹下 隆 中部分区ガバナー補佐 押川 弘巳
 事務局：吉野由里子 会報委員：藤堂孝一 RI 会長テーマ **ロータリーに輝きを**
 例会 会場：サンホテルフェニックス 2730 地区テーマ
 例会会場住所：宮崎市大字塩路浜山 3083 番地 クラブテーマ『ワン プリング ワン』
 例会会場 TEL：0985-21-1313・FAX 0985-21-1347
 事務局住所：宮崎市佐土原町下田島 11703-18 TEL0985-62-7833 FAX0985-62-7877

RI テーマ
ロータリーに輝きを

第 1329 回例会 平成 26 年 11 月 19 日(水)

<今日のプログラム>

- 1.) 点 鐘
- 2.) ロータリーソング『それでこそロータリー』
- 3.) 会長の時間
- 4.) 幹事報告 5.) 出席報告
- 6.) ハッピーBOX 披露
- 7.) 委員会報告
- 8.) 会員卓話「柳田光寛君」
- 9.) < S A A 次週例会案内 >
各委員会 中間報告
- 10.) 点 鐘

第 1328 回例会記録 平成 26 年 11 月 12 日 (水)

■会長の時間



●会長 原田宗忠君

皆さんこんにちは、本日は第 1328 回の例会です。山脇 忍名誉会員がお越し下さっておりますのでご紹介いたします。後ほどクラブから「30 周年基金」寄付への御礼

記念品の贈呈式を行いますのでスピーチと併せて宜しくお願い致します。



昨日「お仏壇のきむら」ゴルフコンペがございまして、見々津まで行って参りました。暫く行ってないコースでしたが、3,4ヶ月前に長倉幹事と吉田君と行っておま

したので、そのお陰もあり優勝することが出来ました。久しぶりに優勝を味わいましたが、準優勝などとはこんなにも気持ちは違うのだという事を改めて感じました。柳田君色々ありがとうございます御座いました。また次回も参加したいと思います。歯車会ゴルフコンペの方は、当日雨でしたからそれで中止になったのかと思いきや・・・佐土原 RC からの参加が無かったので中止になったという事らしいです、次回は是非参加しないといけないなと思いましたが、また皆さん宜しくお願い致します。

■幹事報告

幹事●長倉祐一郎君



<文書案内>

- * 東日本大震災復興支援について
 - * E クラブよりお知らせ
 - * 会長・幹事会の案内
- 12月11日(木) 18:30

ニューウェルシティ宮崎 会費 ¥6,000

*ライラのご案内～2015年1月17日・18日
会場 シーガイアコンベンションセンター 2F
各クラブ研修生～4.5名 ロータリアン 4.5名
登録料～会員数×¥1,000 締め切り 12月19日

<会議報告>

月曜日に行われた会長幹事会議に参加して参りました。地区運営資金問題～年間 300 万縮小の件。3 月に行われる IM について、登録料 ¥2000 懇親会 ¥3000 2730 地区全体への案内。全体の 4 割の懇親会への参加。ホストの中央ロータリークラブは全員の参加で臨みますとの事でした。

■出席報告

●中武幹雄君

会員数=24名(免除2名)	出席率=81,8%
出席数=17名	メイク届=1名
欠席届=7名	修正～率=85.7%



■ハッピーBOX 披露

●上入佐辰也君

<30 周年基金へ>

- 梶田與之助君～11月誕生日。後期高齢の75歳で仲間入りしました。後10年先までは長生きしたいと思います。
- 梶田君・規子さんご夫妻～11月結婚記念。佐土原 RC の皆様からお祝いを頂き有難うございます。

身体に注意しながら頑張ります。

- 大久保貞子君～30周年に向けて。
- 原田宗忠君～昨日お仏壇の木村杯に優勝しました。
- 荒武義博君～11月10日で61歳を迎えることが出来ました。有難う御座います。3代目も2017年の研修期間を終えた後には社会勉強の為にこの佐土原ロータリークラブに入会させるのが私の夢です。
- 中武君・ちづ子さんご夫妻～11月結婚記念。山あり谷ありの人生でした。お互いの我慢が今日まで夫婦であることが安堵しております。
- 中武幹雄君～11月誕生月。今年で68才になりました。人生1勝2敗でこれからの目標に生きていきます。高望みせず平凡に生きていきます。
- 柳田由起子さん～11月誕生月。お祝いありがとうございます。毎日きれいな花に癒されています。

<財団へ>

- 岩切正司君～山脇名誉会員をお迎えして。
- 30周年基金寄付への御礼記念品贈呈式



記念品贈呈の様子

山脇 忍 名誉会員

{4つのテスト}

4つのテストは皆様ご存知の如く、国際ロータリーの1954～55年度の会長 Herbert J. Taylor 氏の考案になるものでありますが、彼は破綻状態にあった台所用アルミニウム器具製造会社の再建を引き受け、これを立て直す手段として1932年に考え出した物であります。この4つのテストを従業員に徹底させることによって、その会社は見事に立ち直ったということになります。この1932年は、奇しくも私の誕生の年に当たりますので何か忘れられない因縁があるように思っています。ですから今から82年も前のことでもあります。ハーバート・テイラーは実業家であると同時に敬虔なクリスチャンであり、彼の自叙伝の中に次のように書いてあります。

”4つのテスト“は私が神に深い祈りをささげた末に書き上げた物であるが、その原版は、全て聖書の中に書かれている。それは「知恵あるものはその知恵を誇ってはならない。力あるものはその力を誇ってはならない。富める者はその富を誇ってはならない。誇って良いものは、神が慈しみと、公平と、正義を行って



る者をよし、とされているのを知っていることだけでよい。」4つのテストの背後には、この慈しみと、公平と、正義(隣人愛)という永遠の宝が隠されているのである。

と述べています。この4つのテストは、単に職業倫理のみの問題ではなく、私達の私生活における生き方にも通ずるものであり、生活の信条として捉えることが出来そうであります。テイラーの自叙伝によりますと、全世界で最初に使用したのは日本で、福岡県の高教室にテストのポスターを掲げたと言われています。クラブのバナーに初めてテストを掲げたのは大阪ロータリークラブだと言われています。ご存知の如く”4つのテスト“は「は真実・みんなに公平・好意と友情を深める・みんなの為になる。この4つからなっています。記憶しやすいように最初の文字をとって、し・み・こ・みと覚えたものです。4つのテストは英語で Four Way Test と言いますが Test には S がついていません。つまりテストは4つあるのではなく、1つのものとして四方に目を向けるというのが本当の意味だそうであります。この4つは切り離し出来ません。1つか2つ或いは3つでいいのではなく4つが実行されてはじめて Pass することになるのであります。その事を良くご承知頂きたいと思えます。

「そろばんと論語」

明治・大正時代における実業家の第一人者に「渋沢栄一翁」がいます。彼は明治5年に初めて我が国へ銀行制度を導入し、また通貨制度を改革して日本に自由主義経済の基礎を築き上げた人であります。渋沢翁は常に「経済と道德の合一論」を説かれていました。そして、彼はこれを「そろばん論語」と表現しました。右手に算盤、左手に論語だと教えて車に両輪が必要な如く、単なる利益追求の一輪車では走れない。長続きしない。「道德」というもう1つの輪を備えた上での利潤でなければ多くの人の信頼は得られない。また、真の繁栄もあり得ないと説いています。尚、蛇足ですが、私が健康に毎年数回行っている吉川セミコンの講堂の中央に職業訓として「渋沢栄一の書」が掲げられています。

「総親和総努力」は次回掲載させていただきます。

4つのテスト

『言行はこれに照らしてから』

1. 真実かどうか。
2. みんなに公平か。
3. 好意と友情を深めるか。
4. みんなのためになるかどうか。

訃報のお知らせ

11月15日名誉会員の浜田松太郎さんが逝去されました。94歳だったそうです。ご冥福を祈ります

